

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

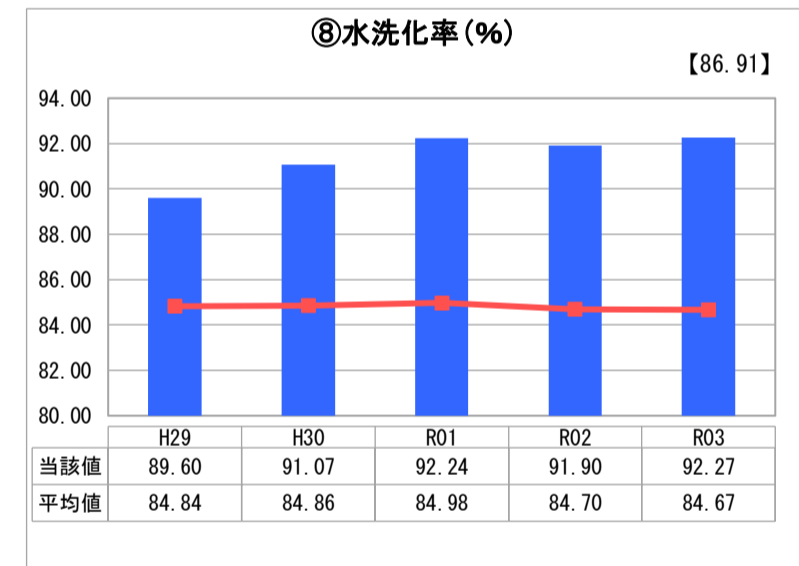
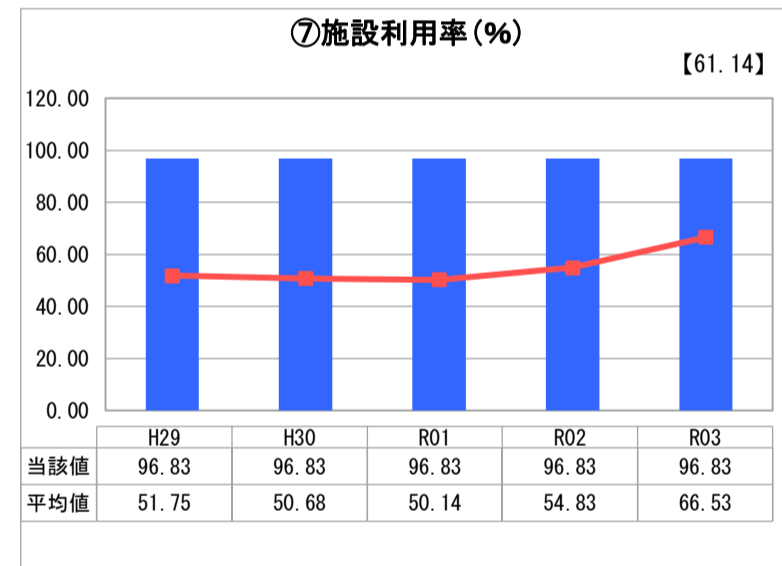
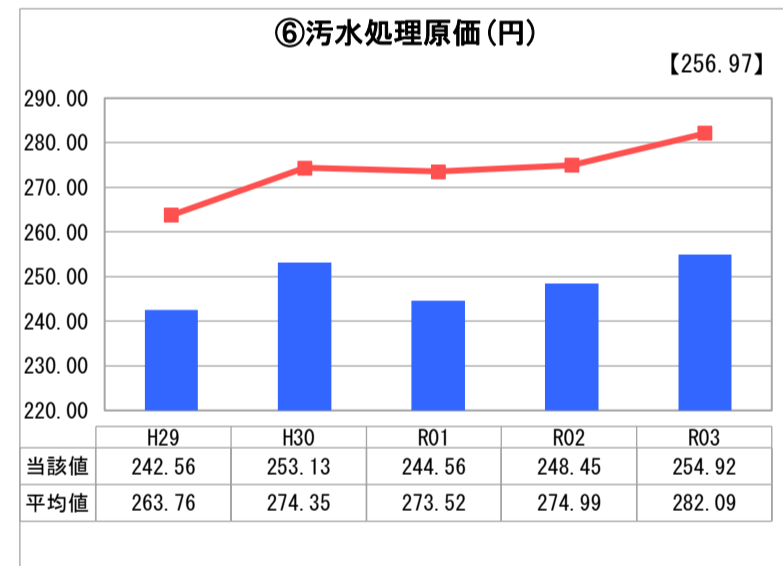
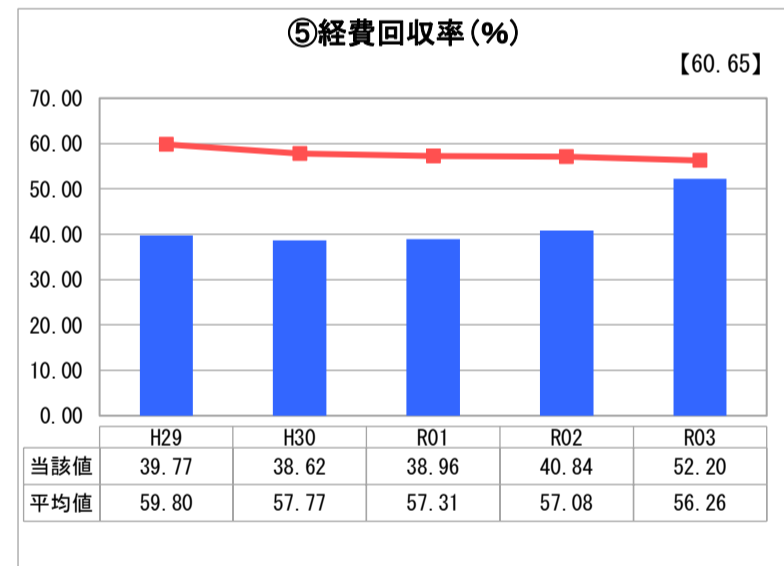
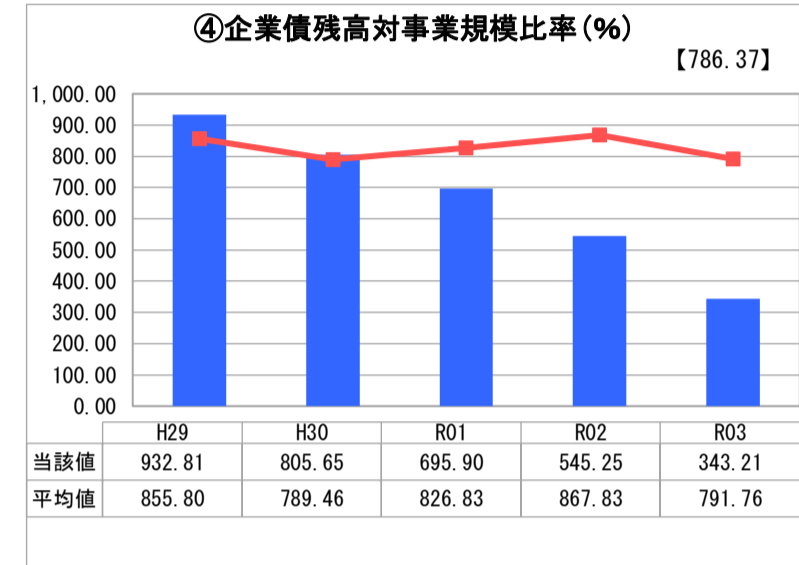
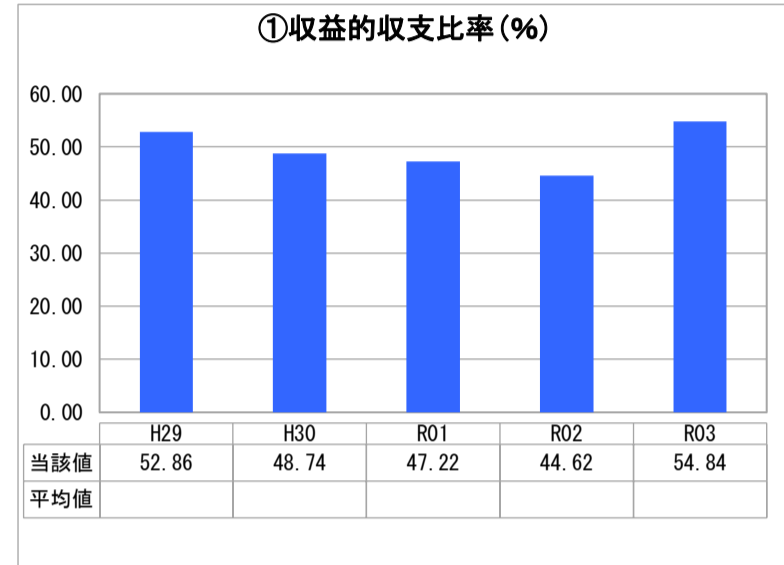
福井県 若狭町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	54.13	100.00	5,005

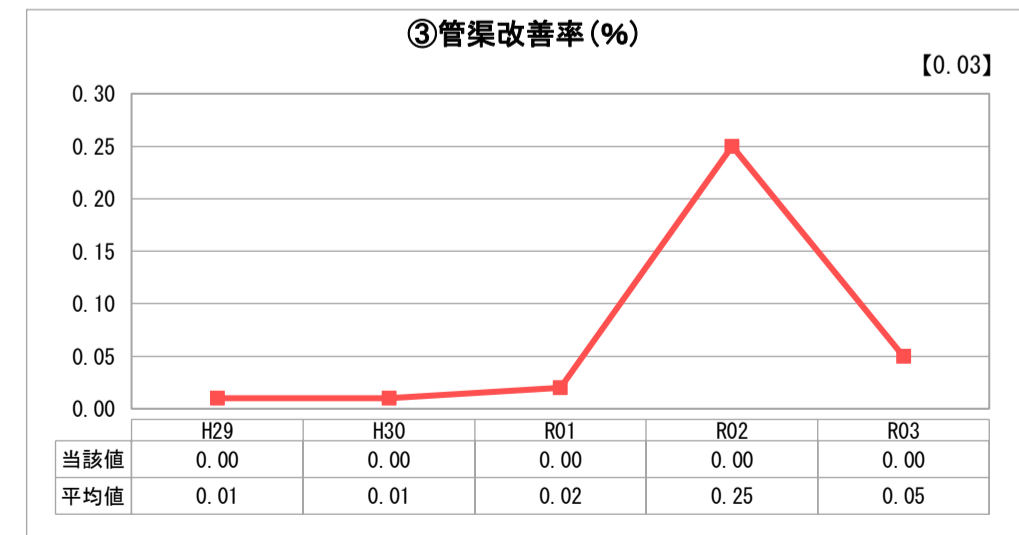
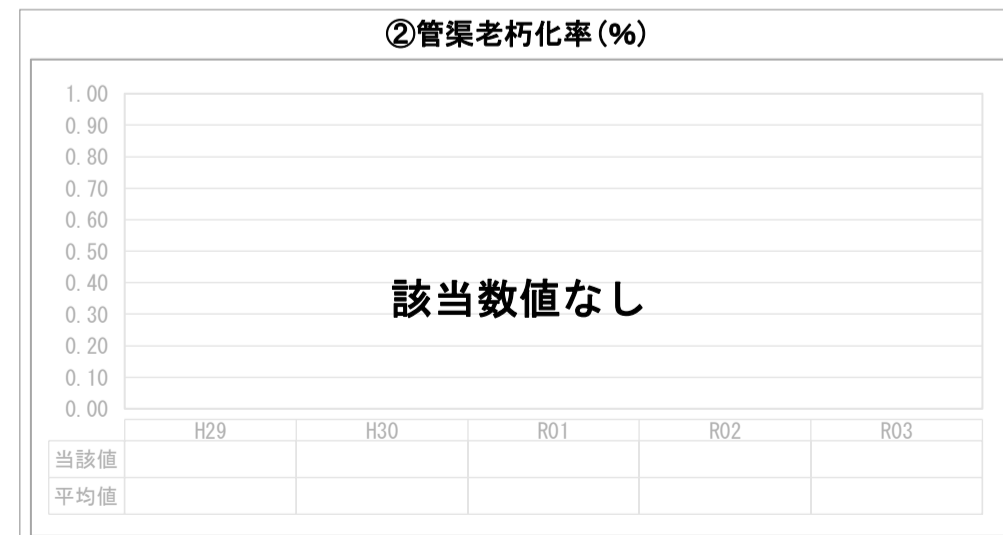
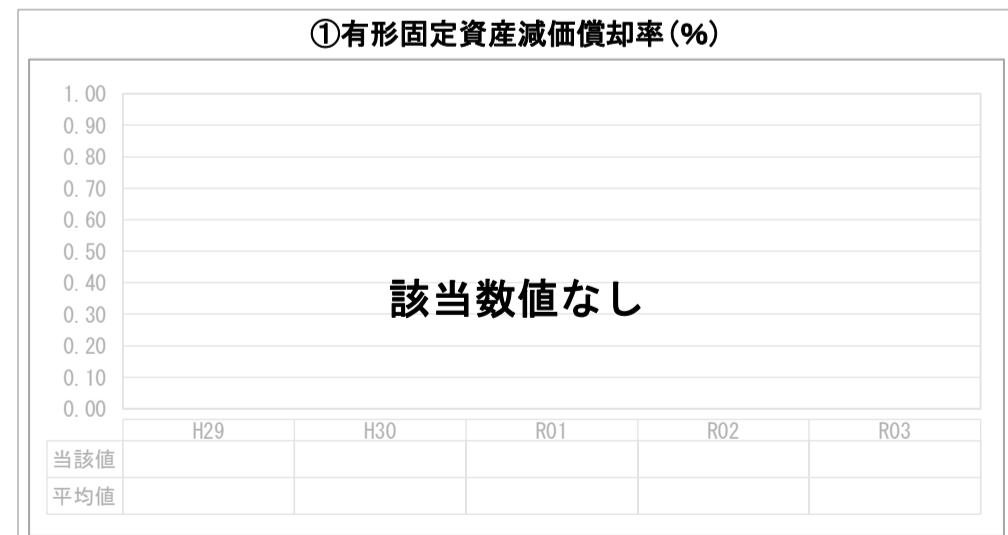
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
14,131	178.49	79.17
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,567	3.36	2,252.08

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率について  
54.84%と100%を大幅に下回っている。これは、一般会計繰入金に依存していることが要因である。令和3年度4月より料金改定を行ったことで、令和2年度に比べ、約8%上昇した。今後は施設の統合を進め、維持管理経費の削減に努める等、比率の上昇を目指す。

④企業債残高対事業規模比率について  
起債償還のピークが過ぎ、今後数年は減少傾向になると思われる。しかし、今後は施設の大規模更新を予定しており、再び企業債の増額が予想される。

⑤経費回収率について  
50.20%と100%を大幅に下回っている。令和3年度4月より料金改定を行ったことで約11%上昇し、類似団体と比較しても、大きな差異はない。今後は回収率が低下することが無いよう、経営の健全化に努めていく。

⑥汚水処理原価について  
過去3年間に大きな変化なし。また、類似団体に比べ安価である。

⑦施設利用率について  
類似団体と比較して高い数値となっている。使用人口は減少傾向にあるが、不明水の流入により水量が多いことも考えられる。

⑧水洗化率について  
90%を超え高い数値となっている。接続については個人の負担もあるため、伸び悩むことが予想されるが、100%を目指し、接続の推進を図る。

### 2. 老朽化の状況について

当町の農業集落排水処理施設は、9地区に分かれており、施設の供用開始年度は、平成5年から平成11年となっている。すべての施設において供用開始から20年以上が経過しているため、機械電気設備の耐用年数経過に伴い、修繕が増加しており、状況に応じ、計画的な更新を進めている。

管渠については、現状、更新は行っていない。耐用年数である50年をめどに計画的な更新が必要である。

### 全体総括

R3年度4月より料金改定を行い、およそ3割の値上げが行われたことで、使用料収入は増加したが、今後は、居住人口の減により、収入も減少することが考えられる。しかし、施設の老朽化が進んでおり、更新工事等、費用が増大していくと想定される。令和2年度に策定した、「若狭町上下水道ビジョン」に基づき、施設の統廃合を行い、維持管理費用の削減を図り、それに合わせて、段階的な料金改定も検討していく。

また、R5年度より公営企業会計を導入し健全な経営を図っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。